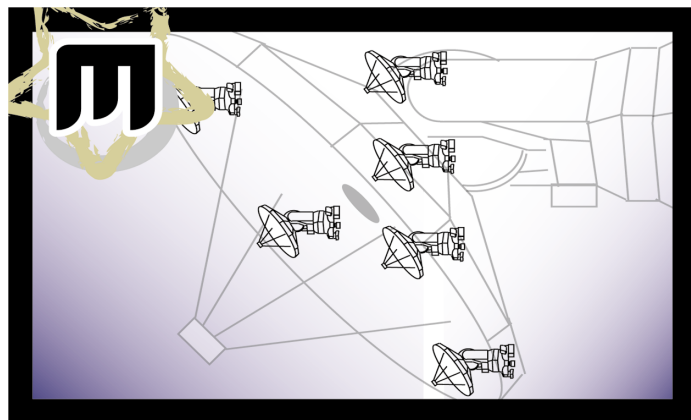
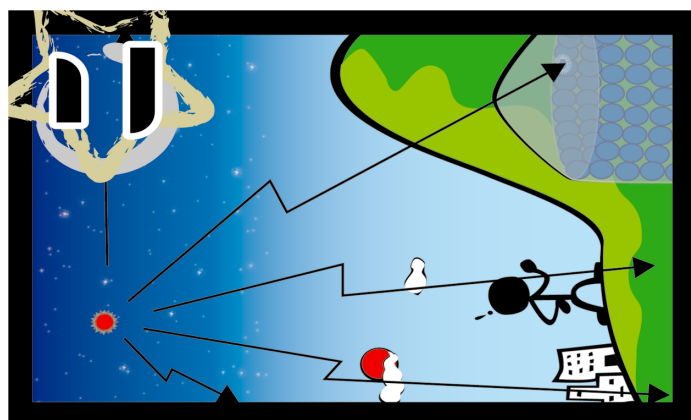
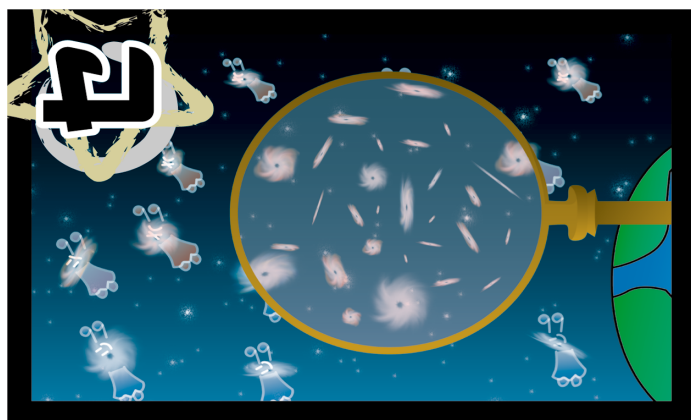
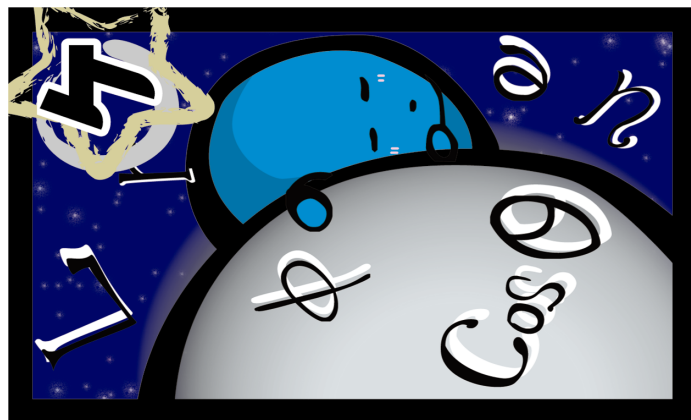
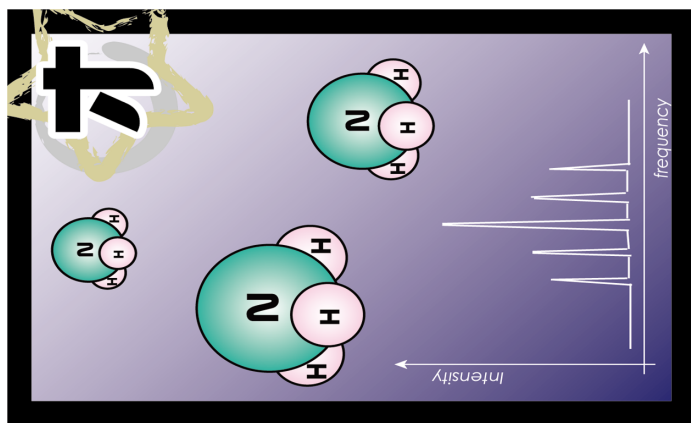
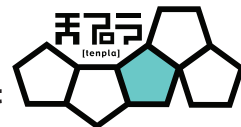
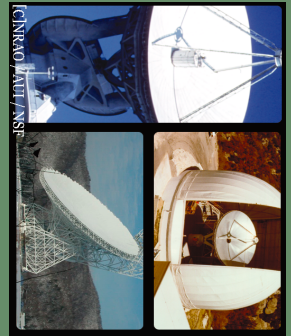


○推奨用紙○

エーワン：マルチカード インクジェット専用タイプ
A4判 8面 名刺サイズ

www.tenpla.net


○推奨用紙○

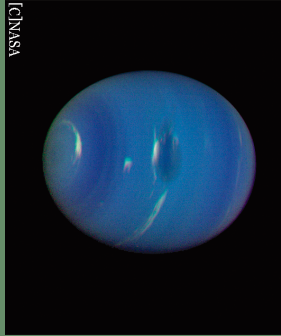
エーワン：マルチカード インクジェット専用タイプ
A4判 8面 名刺サイズ

[CNRAO / AUI / NSF]

アンモニア [ammonia]

宇宙には大量のガスが漂っています。主成分は水素ですが、一酸化炭素やアルゴンなど私たちがよく知っている気体も多含まれます。ガスの中にはアンモニアも含まれています。これは天文学的に大変重要なガスです。アンモニア分子が出す電波を詳しく調べることで、そのガスの温度を知ることができるとです。これは、例えば星がどのような場所で生まれるのかを知る上でも重要な道具となります。

www.tenpla.net



[CNASA]

海王星 [Neptune]

天王星が発見されて以来、その観測が続けられると、計算から求められる天王星の位置と観測される位置との間にズレがあることがわかってきました。このズレは、天王星の外側に未知の惑星があるからだと考えた天文学者たちは、そのズレの大きさから未知の惑星の大きさや軌道を綿密に計算し、惑星の位置を予測しました。その予測された位置を観測してみると、まさにその位置に未知の惑星、海王星があったのです。

www.tenpla.net

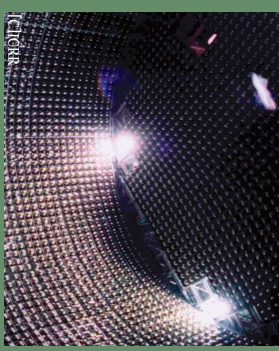


[CNASA]

赤外線 [infrared]

宇宙では、遠くにある銀河ほど私たちが大きな速度で遠ざかっています。遠ざかる銀河からやってくる光は、遠ざかる速度が大きければ大きいほど、本来の色よりも赤っぽく見えます。これを赤方偏移と呼びます。もう一つ、遠い銀河から来る光は、赤色を通り越して、人間の目では見ることの出来ない赤外線領域に入ります。宇宙の奥深くは、赤外線で見通すことができます。

www.tenpla.net



[ICORR]

ニュートリノ [neutrino]

1987年の初め、おおよそ10兆個のニュートリノが私たちの体を通りました。超新星1987Aの大爆発によって放出されたニュートリノが、この瞬間に地球を通り抜けたのです。ニュートリノはほとんど全てのものを通り抜けてしまう素粒子ですが、日本のニュートリノ検出装置カミオカンデは11個のニュートリノを捉えることに成功し、その功績によりノーベル賞を受賞しました。

www.tenpla.net



[CHITRALISITE.ORG]

分子雲 [molecular cloud]

この4つの星座には、それぞれ有名な星形成領域、つまり巨大なガスの固まり・分子雲があります。へびつかい座とオリオン座では、太陽の数10倍もある非常に重い星が生まれつつあり、一方おうし座やカメレオン座の星形成領域では、太陽程度の星が大量に生まれつつあります。宇宙に漂う分子雲から星が生まれる様子を詳細に調べることは、私たちの太陽系かどのようして生まれてきたか、という問いにヒントを与えてくれることでしょう。



[CNAO]

干渉計 [interferometer]

干渉計は、複数の望遠鏡で見た星の光を一つに合わせ、大きな口径の望遠鏡の一部としての働きを持たせます。だから望遠鏡を寄り目（近い距離）に置くより、離れ目（遠い距離）に置いた方が、高い解像度を得られるというわけです。国立天文台三鷹の光赤外干渉計MIRAは2つの望遠鏡を30m離して設置し、国立天文台野辺山のミリ波干渉計は最大600mの範囲に6基の電波望遠鏡を設置しています。

www.tenpla.net